

令和6年度 学校評価アンケート

実施日:令和7年1月16日～2月14日

対象 :保護者 261(人)/347(人) 75.2%

生徒 340(人)/347(人) 98.0%

教員 34(人)/34(人) 100%

評議員

評価 : ④そう思う:4 ③どちらかといえばそう思う:3 ②あまりそう思わない:2 ①そう思わない:1

				集計結果	集計結果	前年比	学校評価(自己分析)の概要	学校評価(評議員)	評議員 総合評価
				R6	R5【参考】	R5→R6			
学校全般	1	保護者	本校の教育内容は、国際力の向上や多様な興味・関心、進路志望等に対応していると思いますか。	3.6	3.5	0.1	・普段の授業や、各部・年次の地道な取組みが評価されているものと思う。 ・生徒がより広い視野に立ち、国際社会を見つめ、自分のあり方を考えることができるよう、職員が一丸となって協力したい。	・留学や交流先が他校より広く、意欲的に実施されている。 第二言語にも力を入れている。(担当講師の確保が課題) ・教育内容の評価については、昨年の数値と比較すると高い数値になっており、学生や保護者に教育に対する努力が評価されている。数値が高くなっているため、この数値の維持に向けて一層の努力が必要になってくることに留意しておく必要がある。 ・数多くの国際交流のチャンスだけでなく、校外でのフィールドワークなどがあり、十分に対応できている。	4 4 4 4
		生徒	本校の教育内容は、国際力の向上や多様な興味・関心、進路志望等に対応していると思いますか。	3.6	3.4	0.2			
		教員	本校の教育内容は、国際力の向上や多様な興味・関心、進路志望等に対応していると思いますか。	3.6	3.4	0.2			
	2	保護者	本校の学校行事(文化祭、体育祭、球技大会、海外研修など)は適切に実施されていると思いますか。	3.6	3.5	0.1	・高校生らしい若くて明るい雰囲気と、主体的に取り組む姿が見られた。 ・生徒会を中心に、内容の吟味検討を重ね、さらに良いものを目指したい。	・各行事では、(発声を要する場面では)声も出ていて良かった。 ・学校行事は、昨年より高評価の数値になっている。教員側にはもってできたのではという思いがあるようなので、その思いを調査し(具体的な点を)改善していくことが望まれる。 ・体育祭などはまだ暑い時期に開催されるものの、熱中症対策などしてもらっており、適切に実施されている。	なし 4 3 4
		生徒	本校の学校行事(文化祭、体育祭、球技大会、海外研修など)は適切に実施されていると思いますか。	3.5	3.3	0.2			
		教員	本校の学校行事(文化祭、体育祭、球技大会、海外研修など)は適切に実施されていると思いますか。	3.3	3.1	0.2			
	3	保護者	本校の学校行事等に、保護者の方々に参加する機会が十分あり、交流が図られていると思いますか。	3.0	2.9	0.1	・行事には、いつも保護者の協力とサポートをいただいている。特に文化祭や体育祭には、多くの方が見に来てくださっており、感謝している。 ・これからも温かい雰囲気を大切に、国際高校の良い伝統を引き継いでいきたい。	・楽しい雰囲気が感じられ良かった。 ・学校行事への保護者の参加については、数値の改善がみられるものの、保護者の行事への参加については、(どの程度の参加を見込むかなど質問項目を検証し)測定したい点を明確にして、質問項目を再設計するほうが良いと思い、 ・学校行事は平日に開催されることが多いため、多くの保護者にとって参加するのが難しい。5月のオープンスクールや海外研修説明会などは土日に開催されており、保護者が来校して、学校と交流する機会はあるので、そうした機会も活用してほしい。	なし 4 3 4
		生徒	本校の学校行事等に、保護者の方々に参加する機会が十分あり、交流が図られていると思いますか。	3.0	2.7	0.3			
		教員	本校の学校行事等に、保護者の方々に参加する機会が十分あり、交流が図られていると思いますか。	3.1	2.8	0.3			
	4	保護者	HPや年次便り、各種案内を活用して学校からの連絡や情報発信を適切に行っていると思いますか。	3.1	3.2	▲ 0.1	・これまでの印刷物による連絡と、ホームページやライデンメールを使った連絡を併用しており、学校と保護者との連絡方法の過渡期にあると考える。 ・生徒を真ん中に、相互の連絡がよりスムーズに行くよう、今後も検討を重ね、より良い方法を模索したい。	・ホームページや学内の掲示物などを活用し、十分な対応がされている。 ・使いやすいツールであれば良い。 ・学校からの情報発信については、保護者の数値が昨年度と比較して低くなった理由は調べておく必要がある。この質問項目自体が、回答しにくいように思われるため、Webサイトの更新頻度の適切さを聞くとか、年次便りのコンテンツについて聞くとか具体的な質問のほうがよいように思われる。 ・ホームページは随時更新されており校内の様子もよくわかるように情報発信はされている。	4 3 3 3
		生徒	HPや年次便り、各種案内を活用して学校からの連絡や情報発信を適切に行っていると思いますか。	3.3	3.2	0.1			
		教員	HPや年次便り、各種案内を活用して学校からの連絡や情報発信を適切に行っていると思いますか。	3.3	3.3	—			
	5	保護者	本校では、オープンハイスクールや学校説明会等を通じて、中学生やその保護者へ情報を発信し、広報活動に取り組んでいると思いますか。	3.4	3.5	▲ 0.1	・今年度は、前年度にも増して広報活動に力を入れてきたので、保護者の評価が0.1ポイント下がったのは意外かつ残念である。 ・中学校や塾だけではなく、保護者にも広報活動の中身をアピールし、ご理解いただくことが、さらなる広報活動につながると思うので、保護者のお力をお借りする方策も検討したい。	・実際の受験者数等をみても、広報活動の成果が上がっていることが確認できているのではないかな。 ・保護者にも協力していただくことは有効である。 ・(数値を見ると)教員の評価と学生の評価に差が見られる。 ・直近の参加者である1年生に、学校説明等でどんな不足があると感じたかという点についての聞き取りをしたほうがよい。	4 3 3 4
		生徒	本校では、オープンハイスクールや学校説明会等を通じて、中学生やその保護者へ情報を発信し、広報活動に取り組んでいると思いますか。	3.1	3.1	—			
		教員	本校では、オープンハイスクールや学校説明会等を通じて、中学生やその保護者へ情報を発信し、広報活動に取り組んでいると思いますか。	3.9	3.7	0.2			

令和6年度 学校評価アンケート

実施日:令和7年1月16日～2月14日

対象 :保護者 261(人)/347(人) 75.2%

生徒 340(人)/347(人) 98.0%

教員 34(人)/34(人) 100%

評議員

評価 : ④そう思う:4 ③どちらかといえばそう思う:3 ②あまりそう思わない:2 ①そう思わない:1

				集計結果	集計結果	前年比	学校評価(自己分析)の概要	学校評価(評議員)	評議員 総合評価
				R6	R5【参考】	R5→R6			
学習指導	6	保護者	本校の授業展開は、少人数編成等の工夫がされ、お子様に沿った学習形態がとられていると思いますか。	3.4	3.4	－	・多くの教科・科目の授業において少人数編成、習熟度別指導、授業内でのグループワーク等の工夫した授業展開がなされており、同時にそれが本校生徒の実態に沿ったものとなっていることが比較的高い数値となって表れているようである。		4 4 4 4
		生徒	少人数編成の授業展開等、生徒に沿った学習形態がとられていると思いますか。	3.4	3.4	－			
		教員	少人数編成の授業展開等、生徒に沿った学習形態がとられていると思いますか。	3.5	3.5	－			
	7	保護者	本校の教員は、ICT機器を適切に活用するなど、授業を工夫し、質の高い学習指導を行っていると思いますか。	3.1	3.1	－	・昨年度よりも、PPによるスライドなど、さまざまな資料を事前に作成して授業に臨む教員が増えている。それらをうまく活用して授業を行ったことが生徒の理解を促進し、結果として今回のポイント上昇へと繋がったのではないかと感じている。 ・授業内容については保護者にはなかなか伝わりにくいこともあり、教員や生徒のように評価ポイントが上がらない面もあると推測される。本校では1学期と2学期に公開授業の機会を設けているので、それに向けての宣伝活動を積極的にするなどの対策を行っていくことによって、この部分の解決を図っていくことが良いのではないかと思う。	・(公開授業は)限られた機会ではあるが、この取り組みに参加したが、教員の指導にはかなりの個人差があると感じた。準備された参観者向け授業計画資料等を見るに、制度が形骸化しないようにしていく必要を感じた。生徒の優秀さに救われ、それにあぐらをかく状態にならないようにすることが重要である。 ・先生方の努力を感じる。保護者は、基本的に授業に参加しないので、聞かれてもわからないように思うが、保護者向けの質問は、公開している授業での評価とかに変えたらどうか。	1 4 3 4
		生徒	本校の教員は、ICT機器を適切に活用するなど、授業を工夫し、質の高い学習指導を行っていると思いますか。	3.1	3	0.1			
		教員	本校の教員は、ICT機器を適切に活用するなど、授業を工夫し、質の高い学習指導を行っていると思いますか。	3.4	3.2	0.2			
	8	保護者	本校の教員は、評価の観点や評価方法を周知し、学習評価を適正に行っていると思いますか。	3.3	3.4	▲ 0.1	・生徒の評価ポイントは上がり、保護者の評価ポイントは下がるという現象が起きた。本校では、すべての科目において毎学期末に評価方法について報告をしてもらい、成績会議でそれが適正であるかどうか、全教員の目でチェックを行っている。そういった動きや各授業担当者からの報告を見る限りでは、学習評価が適正に行われていないとは考えにくいのであるが、保護者の側から見た場合、例えば自分の子どもが頑張っていたにも関わらず成績が下がったといったケースが出た場合には、この項目の点数を低めに回答する可能性も挙げられよう。 ・今後の対策としては、保護者に対し、より丁寧な説明をおこなっていくことで、わが子が理不尽な成績をつけられたと感じさせないような工夫が必要であると考えている。		なし 3 4 4
		生徒	本校の教員は、評価の観点や評価方法を周知し、学習評価を適正に行っていると思いますか。	3.4	3.3	－			
		教員	本校の教員は、評価の観点や評価方法を周知し、学習評価を適正に行っていると思いますか。	3.3	3.3	－			
	9	保護者	C.C.C.(総合的な探究の時間)を中心に教育活動や行事で、お子様の探究的な学びが適切に推進されていると思いますか。	3.3	3.4	▲ 0.1	・この項目でも「設問8」と同様、生徒の評価ポイントは上がり、保護者の評価ポイントは下がるという現象が起きた。C.C.C.(総合的な探究の時間)については、保護者の側からするとどのような取り組みが行われているのか全くといっていいほど見えていないのではないかと推測される。 ・教員は一生懸命に取り組んでいて、生徒もそのことをよく理解している。しかし保護者にはその部分が見えていない。そのような不透明さが今回の数値となって表れた可能性は十分に考えられる。 ・今後の対策として、学期末に実施される「C.C.C.発表会」を保護者にも公開するなどして、実際の活動を目で見てもらい、その上で総合的な探究の時間における学びが適切かどうかを判断してもらうようにするのも一つの方法ではないかと考えている。	・C.C.C.の取り組みは、もちろんまだ十分成果を出すとかのステージには至っていないと思うが、学年全部の生徒数で、ゼロからこれを年間通してやり遂げられたのは賞賛に値すると思う。担当された先生方の熟意とご努力に頭が下がります。来年はぜひ保護者の方をお招きしてはどうか。 ・取り組みの内容や状況を公開できれば良い。 ・質問項目として、8番目の質問で保護者には足りるのではないかと考える。 ・C.C.C.について保護者への参観の機会があったり、評議員会員の時に示されていたような写真と詳しい説明があればわかりやすい。次年度以降のLINEスクールを活用しての発表の場があればおもしろい。	4 3 3 4
		生徒	C.C.C.(総合的な探究の時間)を中心に教育活動や行事で、探究的な学びが適切に推進されていると思いますか。	3.4	3.3	0.1			
		教員	C.C.C.(総合的な探究の時間)を中心に教育活動や行事で、探究的な学びが適切に推進されていると思いますか。	3.2	3.2	－			

令和6年度 学校評価アンケート

実施日:令和7年1月16日～2月14日
対象 :保護者 261(人)/347(人) 75.2%
生徒 340(人)/347(人) 98.0%
教員 34(人)/34(人) 100%
評議員

評価 : ④そう思う:4 ③どちらかといえばそう思う:3 ②あまりそう思わない:2 ①そう思わない:1

				集計結果	集計結果	前年比	学校評価(自己分析)の概要	学校評価(評議員)	評議員 総合評価
				R6	R5【参考】	R5→R6			
進路指導	10	保護者	海外進学をはじめ、進路指導に関する情報が適切に発信され、お子様の目標達成に役立つように行われていると思いますか。	3.2	3.3	▲ 0.1	・同じ項目について、生徒・教員の満足度は前年度比であまり変化がないが、保護者のみ満足度が下回っている。ひとえに、進路指導部から保護者への情報提供・発信の仕方の改善が期待される。 ・来年度以降、現在行っているHPでの情報発信以外に、保護者連絡ツールなどを活用し、進路指導の情報提供や、実施した進路指導内容の情報発信を定期的・積極的におこなうことを心がけていきたい。	・関係する情報の発信できれば良い。 ・比較的良好評価と思う。保護者は常に情報不足になりがちなので、保護者の不安解消の方策を考えられるとよいのではないかと考えた。 ・保護者側としては知りたいところではあるが、学校から保護者へそこまで情報提供の必要があるのか？と疑問に思う。生徒にしっかり伝わっていて生徒への指導が行き届いている限り、保護者まで丁寧な情報は必要ないと思う。	なし 3 3 4
		生徒	海外進学をはじめ、進路指導に関する情報が適切に発信され、一人一人の目標達成に役立つように行われていると思いますか。	3.4	3.3	0.1			
		教員	海外進学をはじめ、進路指導に関する情報が適切に発信され、一人一人の目標達成に役立つように行われていると思いますか。	3.4	3.4	－			
	11	保護者	大学(兵庫県立大学等)との連携や接続した取り組みは充実したものになっていると思いますか。	3.1	3.3	▲ 0.2	・同じ項目について、生徒・教員の満足度は前年度比であまり変化がないが、保護者のみ満足度が下回っている。保護者への情報提供・発信のあり方の改善が必要である。 ・来年度以降、現在行っているHPでの情報発信以外に、保護者連絡ツールなどを活用し、進路指導の情報提供や、実施した進路指導内容の情報発信を定期的・積極的におこなうことを心がけていきたい。	・県立どうしの強みを出してほしい。 ・これも保護者にはわかりにくい点かと思う。継続的な情報提供が必要と考える必要がある。 ・兵庫県立大学へバスで行ったり、大学から先生が来られて高校で学ぶ機会も多いことから充実しているように思う。	なし 4 3 4
		生徒	大学(兵庫県立大学等)との連携や接続した取り組みは充実したものになっていると思いますか。	3.3	3.3	－			
		教員	大学(兵庫県立大学等)との連携による取り組み充実したものであると思いますか。	3.5	3.4	0.1			
	12	保護者	進路説明会等、希望進路の実現のための取り組みが 十分なされていると思いますか。	3.0	3.2	▲ 0.2	・同じ項目について、生徒・教員の満足度は前年度比であまり変化がないが、保護者のみ満足度が下回っている。ひとえに、進路指導部から保護者への更なる情報提供・発信が期待される。 ・来年度以降、現在行っているHPでの情報発信以外に、保護者連絡ツールなどを活用し、進路指導の情報提供や、実施した進路指導内容の情報発信を定期的・積極的におこなうことを心がけていきたい。	・情報の発信は大切である。 ・高校の教員が提供できる情報と、予備校などの専門部署が提供できる情報に違いがあるので、すべてを教員の仕事にしないような工夫が必要になっているのではないかと考えた。 ・保護者側としては知りたいところではあるが、学校から保護者へそこまで情報提供の必要があるのか？と疑問に思う部分もある。生徒にしっかり伝わっていて、生徒への指導が行き届いている限り、保護者まで丁寧な情報は必要ないように思う。	なし 3 3 4
		生徒	進路説明会等、希望進路の実現のための取り組みが 十分なされていると思いますか。	3.4	3.2	0.2			
		教員	進路説明会等、希望進路の実現のための取り組みが 十分なされていると思いますか。	3.5	3.3	0.2			

令和6年度 学校評価アンケート

実施日:令和7年1月16日～2月14日

対象 :保護者 261(人)/347(人) 75.2%

生徒 340(人)/347(人) 98.0%

教員 34(人)/34(人) 100%

評議員

評価 : ④そう思う:4 ③どちらかといえばそう思う:3 ②あまりそう思わない:2 ①そう思わない:1

				集計結果	集計結果	前年比	学校評価(自己分析)の概要	学校評価(評議員)	評議員 総合評価
				R6	R5【参考】	R5→R6			
生徒指導	13	保護者	お子様は、本校のマナーやルール(頭髪・服装など)を適切に守っていると思いますか。	3.3	3.3	—	・生徒・保護者と職員の意識の乖離がある。全校集会での服装マナー指導など行っているが、校内のルールと照らし合わせた時の現実の違いの捉え方に違いがある。今後のルールの在り方や運用について学校としてどのような進め方をしていくか、何が大事なのかを生徒・職員・保護者で話し合いを進めていきたい。	・気になるような風紀上の問題は見受けなかったと思う一方で、指導者自身も言葉遣い等について、学外者が驚くような言葉での指導等に頼ることのないように注意する姿勢が必要である。 ・個性や文化の違いを受け入れる部分も必要と考える。 ・国際高校なので、日本での常識と世界の常識の狭間に、国際高校のルールがあるものと思われる。日本のルールに収まり切れない人材の育成が、国際高校の使命だと思うので、今の指導でも十分なのではないか。教員の自己評価が低すぎるように感じる。 ・昨今、(規律やルールの遵守について)どこまで守るのが正	3 3 3 2
		生徒	本校生徒として本校のマナーやルール(頭髪・服装など)を適切に守っていると思いますか。	3.4	3.2	0.2			
		教員	本校生徒として本校のマナーやルール(頭髪・服装など)を適切に守っていると思いますか。	1.9	1.8	0.1			
	14	保護者	本校では、部活動や生徒会活動が活発に実施されていると思いますか。	2.9	3	▲ 0.1	・昨年と大きな違いはない。生徒会は人数からすると常に中氏らの任務がある。ただその内容が学校行事のほかには学校説明会・オープンハイスクールなどの内容であり、生徒会オリジナルというものを充実させたいところだが、悩ましい部分である。 ・部活動は特に運動部においてチームスポーツに関する者は人数の問題もあり、あり方そのものを考えていく必要がある。	・生徒会活動では、活動自体を円滑にすすめるために人数は欲しい。 ・生徒会活動と部活動、ともに、これまでの在り方からの変化が求められている。学校として、授業以外の活動をどうしたいのかということとかかわっていると思いますので、学校全体の方針の中で今後の在り方を考えた欲しい。神戸市等の影響もあり、今後は学外の団体と協力して学生の活動をサポートする形が出てくるのではないかと。生徒会活動は、教育の一環として活用するかどうかは学校次第と考える。 ・部活動に関しては、温度差を感じる部分がある。	なし 3 3 3
		生徒	本校では、部活動や生徒会活動が活発に実施されていると思いますか。	2.9	2.9	—			
		教員	本校では、部活動や生徒会活動が活発に実施されていると思いますか。	2.3	2.2	0.1			
	15	保護者	本校では、いじめや不登校への対応が適切であると思いますか。	3.2	3.2	—	・現状のアンケート調査をはじめ、いじめ対応チームを行うなど、生徒たちから声が上がったものについての対応はできている。ただし教員側がすべてを把握できているとは言えないので、これからより丁寧な面談等をしていく必要がある。		なし 3 4 4
		生徒	本校では、いじめや不登校への対応が適切であると思いますか。	3.3	3.3	—			
		教員	本校では、いじめや不登校への対応が適切であると思いますか。	3.6	3.4	0.2			
人権教育	16	保護者	人権について身近な問題から、歴史・社会的問題等について、自他の人権を守る態度を育てるために、人権HRや講演会等を実施していると思いますか。	3.1	3.3	▲ 0.2	・人権HRと講演会は系統的行うことができた。保護者への案内は不足していたので、来年度講演会の案内を出すなど情報発信がさらに必要と思われる。	・情報発信は必要と考える。 ・生徒の評価ポイントが高いので、講演会等が生徒の印象に残っているものと推測できる。 ・講演会は適切に開催されていた。	なし 4 4 4
		生徒	人権について身近な問題から歴史・社会的問題等について、自他の人権を守る態度を育てるために、人権HRや講演会等を実施していると思いますか。	3.5	3.4	0.1			
		教員	人権について身近な問題から歴史・社会的問題等について、自他の人権を守る態度を育てるために、人権HRや講演会等を実施していると思いますか。	3.1	3	0.1			

令和6年度 学校評価アンケート

実施日:令和7年1月16日～2月14日
対象 :保護者 261(人)/347(人) 75.2%
生徒 340(人)/347(人) 98.0%
教員 34(人)/34(人) 100%
評議員

評価 : ④そう思う:4 ③どちらかといえばそう思う:3 ②あまりそう思わない:2 ①そう思わない:1

				集計結果	集計結果	前年比	学校評価(自己分析)の概要	学校評価(評議員)	評議員 総合評価
				R6	R5【参考】	R5→R6			
保健	17	保護者	本校では、保健室やキャンパスカウンセラーなど、悩み事を相談できる体制が整っていると思いますか。	3.1	3.2	▲ 0.1	・本校の教育相談は平均して月3回と、小規模校としてはに多く実施している。しかし、利用者は固定化しがちな面もあるため、さらに啓発に力を入れていきたい。 ・生徒・保護者への啓発は保健だよりや教育相談だよりで実施している。保護者まで渡っていない可能性もあるため、お便りの工夫や生徒への啓発のための掲示物の工夫に努めたい。	・評価ポイントも高く、良い結果だと思う。 ・月3回の教育相談は十分だと思う。	なし 4 4 4
		生徒	保健室やキャンパスカウンセラーなど、悩み事を相談できる体制が整っていると思いますか。	3.4	3.4	－			
		教員	保健室やキャンパスカウンセラーなど、悩み事を相談できる体制が整っていると思いますか。	3.6	3.5	0.1			
	18	保護者	本校では、校内の環境美化や整理整頓に努めていると思いますか。	3.1	3.2	▲ 0.1	・今年度は先生方の美化への意識が例年より増して高く、生徒への清掃指導についても力を入れられていたので驚いている。 ・経年劣化による汚れもあるため、改善するとすれば、美しく見える工夫が必要だと感じた。例えば掲示物や植物などを配置することで清潔で爽やかな印象を与えることになると思う。 ・掃除については髪の毛の塊などが落ちていることがあるため、気づいたらゴミ箱にいれるよう環境委員会を中心に呼び掛けたり実施してもらいたい。	・校内でゴミを見かけることはなく、整然と保たれていたように思う。 ・(清掃や美化について)意識づけが必要である。 ・経年劣化等は予算の問題であるように思うので、すべてを評価の対象にする必要はないように思われる。 ・来校時にトイレなど利用させてもらうが、いつも清潔に保たれている。	4 4 3 4
		生徒	本校では、校内の環境美化や整理整頓に努めていると思いますか。	3.0	3	－			
		教員	本校では、校内の環境美化や整理整頓に努めていると思いますか。	2.5	2.5	－			
	19	保護者	本校では、お子様の健康を保持するために、健康相談や保健指導等を適切に行っていると思いますか。	3.1	3.2	▲ 0.1	・本校の保健室は体調不良者が利用しやすい雰囲気づくりの工夫がされているが、体調不良でなくても相談に来てもらえるよう保健だよりや掲示物等通して、生徒・保護者に呼びかけていきたい。	・(学校保健や健康管理について)問題なく活動で来ているように思える。 ・保健室は利用しやすい良いと考える。	なし 4 4 4
		生徒	本校では、生徒一人一人の健康を保持するために、健康相談や保健指導等を適切に行っていると思いますか。	3.2	3.1	0.1			
		教員	本校では、生徒一人一人の健康を保持するために、健康相談や保健指導等を適切に行っていると思いますか。	3.4	3.2	0.2			

令和6年度 学校評価アンケート

実施日:令和7年1月16日～2月14日
対象 :保護者 261(人)/347(人) 75.2%
生徒 340(人)/347(人) 98.0%
教員 34(人)/34(人) 100%
評議員

評価 : ④そう思う:4 ③どちらかといえばそう思う:3 ②あまりそう思わない:2 ①そう思わない:1

				集計結果	集計結果	前年比	学校評価(自己分析)の概要	学校評価(評議員)	評議員 総合評価
				R6	R5【参考】	R5→R6			
国際教育	20	保護者	本校では、国際交流や多文化理解に関する講演会など、様々な取り組みが充実していると思いますか。	3.5	3.6	▲ 0.1	・オンライン交流や国際交流セミナーの開催、また各国からの訪日団の受入で校内外での交流やホストファミリーの機会を設けている。また、専門的知識や海外経験を持つ方々を招聘し、講演会等を実施した。講演会の案内や報告の更なる充実に加え、保護者にも参加いただける機会を増やすことを今後の課題として検討していきたい。	・国際高校らしく、他校よりも充実した取り組みが行われていると思われる。 ・良いと思う。 ・評価も高く、実現できているように思える。 ・国際交流の機会が十分に多く、とても充実している。	4 4 4 4
		生徒	本校では、国際交流や多文化理解に関する講演会など、様々な取り組みが充実していると思いますか。	3.6	3.6	－			
		教員	本校では、国際交流や多文化理解に関する講演会など、様々な取り組みが充実していると思いますか。	3.6	3.6	－			
	21	保護者	本校では、語学力や国際力向上のために、外務省や外部の専門機関と連携した取り組みが充実していると思いますか。	3.2	3.5	▲ 0.3	・国際力向上のために、外部の研究者等を招聘し講演会等を行った。また、兵庫県立大学国際商経学部との高大連携教育協定における講師招聘や、大学への授業参加等をおして、語学力向上や国際力向上に注力したい。 ・以前に行った外務省職員による講演会「高校講座」等を実施し、国際力向上につなげたい。その他の専門機関を活用した語学力、国際力向上の機会は、今後の検討課題である。	・よくできていると思う。 ・数値も高く、実現できているが、継続的な実施体制を整えることが重要だと考える。 ・連携した取り組みが十分実施できている。	なし 4 4 4
		生徒	本校では、語学力や国際力向上のために、外務省や外部の専門機関と連携した取り組みが充実していると思いますか。	3.4	3.4	－			
		教員	本校では、語学力や国際力向上のために、外務省や外部の専門機関と連携した取り組みが充実していると思いますか。	3.0	3.2	▲ 0.2			
	22	保護者	本校では、国際社会に貢献する意識を高めるために、オンライン交流やSDGs等の世界的な課題に関する学習が充実していると思いますか。	3.3	3.5	▲ 0.2	・オンライン交流はコロナ禍に比べ実施回数や対象人数が減少している。これは対面での交流機会が増加したことにより、対象人数は増えていると考える。オンライン交流については、交流先の日本に対する関心の低下も否めないが、在校生には一定の需要があり、実施後のアンケートでも満足度は高い。今後、交流先及び頻度や対象生徒について見直しをしていきたい。 ・国際社会に関する課題や学習機会はC.C.C.等の時間をとおして設けるようにしている。C.C.C.の中で自ら課題を発見し、それらに対する解決策を探る力を育てていきたい。	・国際高校らしく、他校よりも充実した取り組みが行われていると思われる。 ・数値は高く、現状では問題ないようであるが、数値の低下傾向が出ており、その原因を探る必要があると感じる。 ・普段の授業を通じて、世界的な課題に関する学習ができていように思う。	4 4 3 4
		生徒	本校では、国際社会に貢献する意識を高めるために、オンライン交流やSDGs等の世界的な課題に関する学習が充実していると思いますか。	3.4	3.5	▲ 0.1			
		教員	本校では、国際社会に貢献する意識を高めるために、オンライン交流やSDGs等の世界的な課題に関する学習が充実していると思いますか。	3.1	3.4	▲ 0.3			
	23	保護者	本校では、海外留学の推進など、世界を舞台として自己実現やキャリア形成を考えられるような取り組みが充実していると思いますか。	3.2	3.4	▲ 0.2	・進路指導部と国際教育・事業部が連携して、留学や海外大学進学等の情報提供を行っている。令和6年度は、3年次1名、2年次3名、1年次1名が長期留学を行っており、準備段階から留学中においても定期的にポートフォリオを提出させるなどサポート体制をととのえている。 ・学校独自が抱える長期留学提携先はないので、情報収集等は生徒自身で行うことになる。一定の情報を整理して、ガイドライン等の作成、提供を検討していきたい。	・国際高校らしく、他校よりも充実した取り組みが行われていると思われる。 ・(全体的に)良いと思われる。 ・数値も高く、良い結果と考える。長期留学先の確保は長期の課題として取り組んでもらいたいと思う。 ・海外留学の推進があり、実際に国際高校から海外留学をしている生徒がいるのが素晴らしい。	4 4 4 4
		生徒	本校では、海外留学の推進など、世界を舞台として自己実現やキャリア形成を考えられるような取り組みが充実していると思いますか。	3.5	3.4	0.1			
		教員	本校では、海外留学の推進など、世界を舞台として自己実現やキャリア形成を考えられるような取り組みが充実していると思いますか。	3.1	3.2	▲ 0.1			
総合	24	保護者	お子様を本校に入学させて良かったと思いますか。	3.7	3.6	0.1	・本校に対する総合的な評価は、保護者、生徒ともに前年度よりも上昇している。特に、生徒の評価が上昇している理由としては、小中学生の時期にコロナ禍による教育活動の制限があった。現在は、制限がなくなり海外交流も活発になり、本校の教育活動でもある、グローバル教育に一定の評価をしていると考える。 ・保護者に関しても、子供成長を感じることができる、本校の教育活動、特に特色ある国際科目、海外との交流(2年次での3カ国の海外研修、選抜制での、ドイツ・韓国・西オーストラリアへの研修等)に理解を示していると考ええる。その一方、教員の評価が前年度よりやや下回っている。その理由としては、教員自らが考えている教育活動の実践に向けての準備等に必要な、時間の確保が満たされていないと考える。 ・校長のリーダーシップの基、働き方改革で様々な分野で時間の確保を実践しているが、まだまだ効果的に運用ができていない。やはり、生徒のために充実した教育活動の実践のためには、時間が必要と考える。今後、今以上に無駄を省き、教職員が生徒のために充実した教育実践ができるよう、学校全般の業務改善が必要と考える。	・学校を良くしていくとするトップの意志が強く感じられる。また、意欲ある先生方に十分な自由度と支援がなされていると感じる。この学校はまだ良くなっていますね。先生方の業務負担を念頭に置かなければいけないものの、国際高校ならではの思い切った取り組みで、他校への刺激となっていたきたいと期待する。 ・今後も頑張ってください。 ・(全体的に)高い数値がでており良いと思う。 ・生徒も保護者も「この学校で良かった」と思っていることが、総合的な評価になる。この点について、是非入学を考えている中学生にアピールしてもらいたい。	4 4 4 4
		生徒	本校に入学して良かったと思いますか。	3.7	3.4	0.3			
		教員	生徒に満足度の高い指導や、教育活動を実践出来ていると思いますか。	3.1	3.2	▲ 0.1			

令和6年度 学校評価アンケート

実施日:令和7年1月16日～2月14日
対象 :保護者 261(人)/347(人) 75.2%
生徒 340(人)/347(人) 98.0%
教員 34(人)/34(人) 100%
評議員

評価 : ④そう思う:4 ③どちらかといえばそう思う:3 ②あまりそう思わない:2 ①そう思わない:1

集計結果	集計結果	前年比			
R6	R5【参考】	R5→R6	学校評価(自己分析)の概要	学校評価(評議員)	評議員 総合評価